



府連通信

2021年7月号
 日本中国友好協会
 大阪府連合会
 〒530-0012
 大阪市北区
 芝田2-3-19
 東洋ビル本館207
 TEL06-6372-8131
 FAX06-6372-8132
 郵便振替口座
 00970-5-8978
 E-mail:info
 @jcfaosaka.org
 ホームページ
 http://
 jcfaosaka.org/

日中友好協会第70回大会開催 オンラインで192名が参加

全国大会がコロナ禍のためおもあるが、大会議案で深めて頂
 ンラインで開催され、大会にはきたい。協会が70年前に創立し
 全国各地から192名が参加した目的は、日本による中国侵略
 ました。

大阪の参加者は、府連事務所を繰り返さない決意からであ
 と国労会館や自宅などからオンリります。しかし、現状は、武力
 ラインで参加した18名がコロナには武力でという極めて危険な
 禍での大会に望みました。
 井上久士会長は開会あいさつに対応することには反対すべ
 きで「中国に対する批判的な報道です」と語りました。

時代の転換を感じるオンライン開催

コロナ禍の影響で昨年10月25 織運営の改善・改革に活かすこ
 日ようやく開催にこぎつけた第 とを考えざるを得ません。

69回全国大会は、初めての試み たとえば第68回大会で好評を
 としてZoomによるオンライ 博した多数の分散会での経験交
 ン開催となり、か 流の試みが69・70の両大
 なり戸惑いが生じ 会では企画に上らなかつ
 ました。

しかし、全国的 たけれど、オンラインで
 にさまざまな会議 も工夫すれば可能なの
 や催事などのオン どうか、今後の課題かと
 ライン化が急激に 思います。

進み、今回の70回 今回オンライン化を活
 記念大会では初め かしした本部役員体制の改
 から当然のように 革が行われ、従来東京圏
 オンライン開催が 在住者に限られていた本
 部理事・副理事・常
 務委員などに福岡・大阪などか
 計画され、時代の転換をさえ感 務委員などに福岡・大阪などか
 じさせました。 らの参加がスタートしたことは、
 歓迎したいと思えます。



私のように器械オンチ「デジ 武 大阪府連会長・
 タル化」苦手の旧人にはいささ (渡辺 武 大阪府連会長・
 か辛いところではありますが、 本部副会長 写真中央 大阪国
 この流れを日中の日常活動や組 労会館 Zoom会議の様様)

城北支部オンラインで7名参加 中国百科検定受験促進講座を企画

城北支部は第70回全国大会に 7名が参加しました。オンライ
 ン接続に少々手間取り、TVに私 たちの姿が映った時はホットし
 ました。

コロナ禍で制約がある中での 全国活動報告は、会員歴の浅
 い私は知らないことも
 多く、日中
 の活動の多
 様さを知る
 ことができました。
 城北支部は
 設立3年目
 ですが、常
 に目標を持つ
 て会員拡大
 したいと思
 います。



(城北支部事務局長 森脇篤子)

南京事件の真実 歴史修正を検証せよ

延期されていたNNNDキ
 ャメント18「映像から学ぶ」女
 性部学習会のお知らせです。

南京事件(中国人捕虜の大量
 殺戮)の真実を、当時の日本軍
 兵士の30冊以上の陣中日記や、
 200人に及ぶ肉声の証言を通
 して、赤裸々に暴露するドキュ
 メントです。

どなたでもご参加いただけま
 す。お気軽にご参加ください。

7月22日(木) 2時から 府連文化教室

全国大会の正直な感想 女性も発言機会を

女性も発言機会を

発言者は男性ばかり。日中
 か?

友好協会は、草の根の力で日
 中友好を進めていく会ですね。
 草の根を支えるのは女性です。
 「日中友好協会こんなこと
 がありました」と女性が発言
 したくなるような大会だった
 ら良いのに。

議案には文化活動で太極拳、
 中国語、きりえなど様々な取
 り組みが書かれています。そ
 のなら、励まし合いねざら
 いなら「参加してうれしいこ
 と、苦労したことがありまし
 ます」というような話が聞き

たいです。全国
 大会なので、些
 末な発言は不適
 切なのでしょう

府連事務所で参加

昨年引き続き、代議員とし
 てオンラインの全国大会とい
 うことで、府連事務所で山本恒
 副会長と参加することができ
 ました。

これまで大阪で開かれた大会
 には、土曜日は中国語教室が開
 講のため、祝賀会、日曜日の
 みの参加でした。

オンラインの全国大会も二回
 目ということで、進行する方も
 参加する方も慣れてきたと思
 われます。

今後、さらにオンラインの特
 徴を活かし、工夫を重ねて取
 り組むことで多くの方に、全国
 の様子を知ってもらうことができ
 るのでは、と思います。

(府連事務局長 近藤好幸)

不再戦平和友好期間 7・7を迎えてスタート

7月7日は、日本が残酷な
 侵略戦争を中国全土に広げた
 「盧溝橋事件」から84年目に
 当たります。協会は二度と悲
 惨な侵略戦争を繰り返さない
 との不再戦平和の誓いから、
 「柳条湖事件」の9月18日ま
 でを不再戦平和友好期間とし
 て取り組んでいます。

大阪では7月10日「中国国
 民政府の戦犯追及方針と南京
 裁判」の講演とトークのつど
 い実行委員会に参加しました。
 講演は伊香俊哉都留文科大
 学教授が行いました。

きりえでうちわを 西支部講習会

西支部主催のきりえうちわ講
 習会を、7月25日(日)昼から
 随時参加で、205教室で行い
 ます。きりえを『うちわ』に貼
 ります。参加費は材料費込みで
 1000円です。

事前にお申し込みください。



ズーム開催の良さを自宅実感

「少人数のズーム会議ならイメージできるが、200名近い参加者があるズームでの大会のような大会になるのだろうか？」と少し不安を感じながら、6月12日(土)午前10時から午後5時まで開催。

当日、パソコンを開いて大型テレビに接続。10時前には参加者がどんどん画面に表示される。最初は各人の声が聞こえたりして大丈夫かなと思った。しかし、大会が開催されるとみな「ミュート(マイク切断)」に切り替え、議長や主催者の発言に集中。参加者は、高齢者がほとんどだが、順調に大会が進行したのに驚く。

日中本部がコロナ禍から会員を守る方針を明確にして、ズーム会議を重視。回を重ね、会員がズームの操作になれて来ているのが分かった。全国の様々な団体の中でも日中のズームの利便性は、高水準だと感じた。

ズーム会議の良さは、パワーポイントなどで資料や写真を画面に映し出されるので非常に分かり易い。また、東京まで行かなくても自宅で参加できる。費用の節約だけでなく体力的にも優しいことにある。

(堺支部 浅田勝美・右上から2枚目)



前回に続いての70回大会もオンライン参加となりました。コロナ禍に於いての現代の情報を利用した会議です。自宅から参加という物理的にはかなり余裕が持て、労働力不足を補う方法論です。

70回大会も発言機会を与えていた。大阪西支部活動。運動紹介。日ごろの西支部仲間全来たことは、支部員の運動・行動の賜物です、全体にとっても嬉しいことでした。

69回大会において、大阪西支部連中核支部として前進し、中国への絆を一層深めていきました。(西支部 平松悦雄・上段左から2枚目)

百科検定試験の取り組みを発言

中国百科検定試験に特化したオンライン参加となりました。60年目になり、過去諸先輩の労苦の上に築き上げてきた西支部、本部組織5原則に沿い、多様な活動・運動を行っている、一つに中国百科検定試験があります。

毎回検定試験成功のため精力的に、結果を残して来ています。日ごろの西支部仲間全員の運動・行動の賜物です、今後とも手を携え大阪府連中核支部として前進し、中国への絆を一層深めていきました。(西支部 平松悦雄・上段左から2枚目)

2回目のZOOM大会に参加

コロナ禍で二回目の全国大会ムダを省いた進行が求められる。ムダを省いた進行が求められる。ムダを省いた進行が求められる。ムダを省いた進行が求められる。

大会で直接発言をする人は時間の関係で限られて来ますがその中でも相互討論が無いのが少し残念です。それにzoom会議です。3回目と少しずつ



松原弥寿夫・左側

太極拳を通じて中国を知る

学習会に取り組んで

6月27日の学習会で話をしました。日中国交回復1972年以前は、日本では台湾や香港の武術家との交流があった程度で、太極拳そのものはあまり知られていませんでした。

その中で1960年ごろから、日中の会員さんが太極拳研究会や、日本太極拳協会の設立にかかわりましたが、毛沢東による文化大革命の影響で、協会や術専門団体の中にも混乱が持ち込まれました。



「誰でもできる武術をめざしてやってきました」私にとって今回あらためて太極拳が生まれた歴史的背景、健康法・攻撃性・技術理論(古代陰陽説)を知る必要性、知れば知るほど太極拳の持つ魅力にはまりました。又我が協会が太極拳普及の先駆的な役割を果たしてきたことも認識できました。

もう一つ学習の必要性を感じたようになったのは日本中国友好協会が主催する『中国百科検定』です。入門と3級から特級まであり、中国の歴史や文化・政治・地理・スポーツ等の知識を問う中国を知る上ではユニークな検定試験です。あなたも是非挑戦してみたいかがですか、学習文献もあり、事前には楽しい学習会も計画されます。

(太極拳本部指導員 恒岡正勝)

22名が参加

学習会に参加して恒岡先生のお話を聞き終わって、ホンワカ

恒岡先生が府連通信でいろいろお書きになっていることも読ませていただきましたので、お話の内容もよく分かりました。平松様が作られたスライドに合わせてお話をされるなんてすごいです。

平松様の地理のお話で、百科検定の講座付きの学習会になりました。11月の受験宣伝も加えればよかったですかね?

太極拳テキストを読んで、太極拳と日中友好協会のことを知りたと思います。(高田 佳音子)

創立70周年記念

募金のお願

日本中国友好協会創立70周年記念募金は6月には、友田章二郎さんからご協力いただきました。

この記念募金は70周年記念事業に充てるだけでなく、今後の日中友好運動を支える財政基盤の強化を目的としています。

遺贈での寄付を含めて目標額(1000万円)達成のため、引き続きご協力をお願いします。

10月末までの取り組みです。直属会員の方には、会費納入時に『70周年募金』と記入してお申し出ください。よろしくお願ひします。

中国百科検定

11月27日に

会場は大和大学

6月12日の第70回大会で、来年度の第11回試験は3月ではなく5〜7月の間の実施となりますので、次回の全国大会の後になる可能性もあります。

そのため「今年度」は、11月27日の第10回試験に集中して取り組むことになりました。

